

新年明けましておめでとうございます。今年こそ、世界・日本そして私達が安心して生活できる年でありますように!!

◇新型コロナ・ウィルスは収束するのか

第3波が収まる気配がありません。特に東京都では、毎日、曜日の感染者数が増加しています。東京都は、飲食店に営業時間の短縮を要請しました。しかし、ゴー・ツー・トラベルでは、65歳以上と基礎疾患のある人は、移動を控える。一方、65歳以下の人には、移動を奨励しました。「勝負の3週間」とはいったい何だったのでしょうか。私は現在71歳、基礎疾患はあまりありませんが、年末年始、東京へは帰らないことにしました。

ここ浜通りは、「三蜜」ではなく「過疎」、「ソーシャル・ディスタンス」ではなく「ローカル・ディスタンス」なので、東京よりも安全です。外でも余り人と会いません。たまに会う👉(イノシシ)もタヌキもマスクはしていません。

欧米ではワクチンの接種が始まりました。早く安全なワクチンが、低開発国や難民人達も含めて、全世界で接種できる日が来ることを望みます。

新型コロナ：ウィルスは、日本の新自由主義の政治に、社会の矛盾をさらけ出しました。格差の拡大・非正規の人達の解雇・社会的弱者の生活困難などです。一方、株値は値上がりして、金持ちの人は益々金持ちになります。また金持ちの人は、ソファに座って音楽を聴いたりしてステイホームができますが、貧乏人は働かなければ生活ができません。医療従事者や介護従事者は、ゴー・ツー・トラベルにも行けません。

◇今年3・11東日本大震災と福島第一原発事故からまる10年

去年3月13日のJR東日本のダイヤ改正で、普通だった常磐線の富岡駅⇄浪江駅間が開通しました。特急ひたちが品川駅⇄仙台駅間を1日3往復しています。

しかし、現在も富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・南相馬市小高区・葛尾村・飯館村で、帰還困難区域が残っていて、29,307人(12月8日現在)の被災者が、福島県外での避難生活を余儀なくされています。

原発関係でも、いくつかの動きがありました。

- ① 放射能汚染水の問題です。2022年の夏には、保管しているタンクが満杯になります。国と東京電力は、福島第一原発の海洋投棄を企図しています。しかし、漁協や各自治体は、風評被害を心配して反対しています。もしも、トリチウム(3価水素)が安全ならば、政府や東京電力がある東京湾に海洋放出してもらいたいです。
- ② 除染しないで帰還困難区域を解除する問題です。政府は、人の住んでいない地域について、除染しないで帰還困難区域を解除する意向を示しました。帰還困難区域のある自治体は、飯館村を除いて、国の責任で全部の地域を除染することを要望しています。



【(写真) 生活困窮者を支援しようと開かれた年越し支援・コロナ被害相談村=29日、東京都新宿区 (しんぶん赤旗)】



【10年経っても 帰還困難区域 (浪江町津島地区)】

【「双葉通信」発行しなかったことのお詫び】

私事ですが、①部屋のインターネットが接続できなくなり、ドコモ光にサーバーを取り換えてもらう。②パソコンにヤクルトをこぼしてしまい、パソコンを買い替える羽目に、その他、公私多忙により、発行できませんでした。健康等について気遣ってもらい、心配をおかけして、本当に申し訳ありません。これからも月2回の発行を続けます。